取扱説明書 - 詳細版 -

HITACHI
Inspire the Next

基本編
応用編
ネットワーク編
技術情報編

液晶プロジェクター

CP-X3015WNJ
CP-X4015WNJ
CP-WX3015WNJ

（形名：CP-X3015WN/CP-X4015WN/CP-WX3015WN ）

このたびは弊社の液晶プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

はじめに　ご使用の前に、本機の取扱説明書（「かんたんガイド」および本書）をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は大切に保管してください。
この製品には保証書が添付されています。内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

《本機の特長》

本機には以下のような特長を備えており、幅広い用途でご活用いただけます。

- 本機は限られたスペースで大画面を表示できる軽量コンパクトの使いやすいプロジェクターです。
- 本機は温排気が使用する人に向かわない背面排気システムを採用しています。

《本書について》

以下をご参考に本書をご活用ください。

① 見出し：奇数ページの右端に記載されています。

② **お守りください**：本機、およびその他の周辺機器を安全かつ快適にご使用いただくための情報を記載しています。この表示に従ってください。

③ お知らせ：本機や接続する機器などに関する参考情報を記載しています。

④ 📖：このマークのあとに、ご参照いただきたい記事のページや場所を記載しています。

⑤ **＜機種別の取扱＞**：本書は、3 機種の説明書となっています。それぞれの機種特有の取り扱いについては、機種名が記載されています。

例）<CP-X3015WNJ, CP-X4015WNJ> ⇒ CP-X3015WNJ, CP-X4015WNJ に適用される内容です。
<CP-WX3015WNJ> ⇒ CP-WX3015WNJ に適用される内容です。

お知らせ

- 本書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、あるいは全部を無断で複写、転載しないでください。
- 本書に記載している挿絵は、説明のための一例です。お客様のプロジェクターとは若干の相違がある場合があります。

《本書の構成》

本機の取扱説明書 - 詳細版 - は、基本編、応用編および技術情報編の 3 編に分かれています。

取扱説明書 - 詳細版 -

液晶プロジェクター

CP-X3015WNJ/CP-X4015WNJ CP-WX3015WNJ

(形名 CP-X3015WN/CP-X4015WN/CP-WX3015WN)

基本編

【基本編】

この基本編では、基本的な設定や調節、お手入れ方法などについて説明します。

	ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ

お知らせ

一般仕様については「かんたんガイド」の「ご参考」をご覧ください。

はじめに

正しくお使いいただくために《必ずお読みください》

この製品をご使用になる前に、必ずこの「正しくお使いいただくために」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。誤ったご使用や通常の範囲を超える取扱いによる危害や損害については、いかなる場合も弊社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

絵表示について

本書ではこの製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷を発生する可能性があります。

「注意」を示します。
この記号の後に続けて「気をつけなければならない」ことを記載しています。

 「破裂注意」

 「感電注意」

 「高温注意」

「禁止」を示します。
この記号の後に続けて「してはいけない」ことを記載しています。

 「分解禁止」

 「水ぬれ禁止」

 「ぬれ手禁止」

「強制」を示します。
この記号の後に続けて「必ず行わなければならない」ことを記載しています。

 「電源プラグをコンセントから抜け」

 「アース線を必ず接続せよ」

お守りください

本機、およびその他の周辺機器を快適にご使用いただくため、この表示に従ってください。

使用上のご注意

警告

異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜け

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。
▶煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする。
▶内部に異物や液体（金属や水）が入った。
▶落とした、強い衝撃をあたえた。
▶本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある。
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

子どもやペットに注意する

誤った取扱いは、火災、感電、けが、やけど、視力障害などの原因となります。
お子様やペットのいる場所でのご使用や保管には十分ご注意ください。
小さな部品にはお子様やペットが届かないようにしてください。
飲みこんでしまったら、ただちに医師に相談し、応急処置を施してください。

異物や液体を入れない

電源プラグをコンセントから抜け

火災や感電の原因となります。また可燃性の気体や液体が内部に入ると、引火して爆発を引き起こし、火災やけがの原因となります。
万一、異物や液体が入ってしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
▶洗剤や殺虫剤などのスプレー（エアゾール製品）を本機に向けて使ったり、本機の周辺で使用したりしないでください。
▶花瓶、コップ、化粧品、薬品などの液体の入ったものや、ぬれた雑きんなどを、本機の上や近くに置かないでください。
▶クリップやピンなどの金属の小物や、紙片などの燃え易いものを本機の上や近くに置かないでください。
▶付属品、信号ケーブル、信号アダプタ以外のものを、本機と一緒に箱やケースに入れないでください。

分解しない、改造しない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。
▶本機のキャビネットや付属品のケースは、本書に記載のある場合を除き、開けないでください。
▶本機や付属品を加工しないでください。
▶内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。
▶ランプ、ランプカバー、フィルターユニットなどの部品を外した状態で使用しないでください。

衝撃をあたえない

電源プラグをコンセントから抜け

ぶつけたり落としたりするとけがや破損、故障の原因となり、そのままご使用になると火災や感電の原因となります。
万一、衝撃をあたえてしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
▶移動するときは電源コードや信号ケーブルの接続を外し、レンズカバーを取り付けてください。
▶アジャスタ脚は本体を落とさないように持った状態で操作してください。
▶修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用ください。

不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない

落ちたり倒れたりするとけがや破損、故障の原因となり、そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
▶ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所には置かないでください。
▶キャスター（車）付きの台に載せる場合は必ずキャスター（車）止めをしてください。
▶アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。（📖1-34）
▶前面、側面、背面を下にして置かないでください。
▶天吊り (天井設置) など特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。
▶天吊り (天井設置) など特殊な設置は指定の器具をご使用ください。

油を使用する場所に置かない

油煙などにより油が付着し、故障、火災や感電の原因となります。
また、プラスチックの劣化により、天井設置からの落下など、けがの原因となります。
▶調理台のある場所や機械油などを使用する場所に設置しないでください。

高温に注意する

本機の使用中、排気口や排気口から出る空気、ランプカバーは高温になり、やけどや火災の原因となります。
本機の使用中、排気口や排気口から出る空気、ランプカバーは高温になります。周辺に可燃物やスプレー等があると、引火や破裂を引き起こし、火災や怪我の原因となります。また高温部に触れたり近づいたりするとやけどの原因となることがあります。
▶本機の上や周辺に、洗剤や殺虫剤などのスプレーを置かないでください。
▶本機の上や周辺に、燃料や紙などの燃え易いものを置かないでください。
▶使用中や使用後しばらく、排気口やランプカバーに触れたり近づいたりしないでください。
▶金属の台など、熱の伝わり易いものの上や近くで本機を使用しないでください。盗難防止用ワイヤー／チェーンを排気口の近くに置かないでください。
▶本機の上や近くに、熱に弱いもの置かないでください。ケーブルや電源ｺｰﾄﾞ、リモコンなどをランプカバーや排気口の近くに置かないでください。
▶使用後に本機を移動する場合は、本機を十分冷ましてから行ってください。

ぬらさない

本機や電源コードなどがぬれると火災や感電の原因となります。
水を掛けたり、風呂場やシャワー室など水や雨、水滴の掛かる場所に置いたりしないでください。
▶風呂場やシャワー室、台所などに置かないでください。
▶海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。
▶水槽や植木鉢の近くに置かないでください。

レンズをのぞかない

本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。
視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する

仕様の合わない電源コードや信号ケーブルを使用すると、火災や感電、故障や電波妨害の原因となります。本機に同梱されているものは必ず同梱品をご使用ください。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。同梱品以外の接続ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ適切なものをご使用ください。

（つづき）

指定の電源電圧で使用する

指定の電圧以外でのご使用は、火災や感電の原因となります。必ず、本体に表示されている指定電圧、**交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。**

電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルやコネクタを傷つけない

損傷のある電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルなどを使用すると、火災や感電の原因となります。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。

▶本機など、重い物を載せないでください。
▶ヒーターや本機の吸気口、排気口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。
▶コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。
▶投げたり、ひきずったりしないでください。
▶加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。

ぬれた手で電源を接続したり外したりしない

ぬれ手禁止

感電の原因となります。
ぬれた手で電源コードや電源アダプタを取り扱わないでください。

電源プラグは付着物をふき取ってから使用する

本機の電源端子や電源コード、電源アダプタのプラグ（刃）部分やその周辺に、ほこりや金属類などが付着していると、火災や感電の原因となります。
必ず接続の前に、乾いた布などで取り除いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

電源の接続が不完全の場合、感電の原因となったり、発熱して火災の原因となります。
電源コードや電源アダプタを接続するときは、根元まで確実に差し込んでください。
▶ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。
▶たこ足配線はしないでください。

アース線を必ず接続する

アース線を必ず接続せよ

アース線を接地しないと、火災や感電、電波妨害の原因となります。
本書の「電源に接続する」（📖**1-26**）に従って、正しく接続してください。
▶２つ穴コンセントを使用する場合は、付属の電源アダプタをご使用になり、必ずアース線を接続してください。
▶アース線を接続するときは、電源アダプタをコンセントに差し込む前に、アース線をアース端子に接続してください。
▶アース線を外すときは、先に電源アダプタをコンセントから抜いてから外してください。

アース線をコンセントに差し込まない

アース線をコンセントに差し込むと、火災や感電の原因となります。
アース線はアース端子以外には接続しないでください。

お手入れするときは電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜け

電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。
お手入れするときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
必ず本書の「点検とお手入れ」（📖**1-39 ～ 43**）をお読みになり、正しくお手入れしてください。

警告（つづき）

ランプユニットの取扱いに注意する

本機は、寿命のあるガラス製の高圧水銀ランプを使用しています。ランプユニットの取扱いを誤ると、やけどの原因となったり、破裂してけがなどの原因となります。
万一、ランプが破裂した場合（破裂音がします）は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。排気口などから水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが出ることがあります。十分換気し、吸い込んだり、目や口から入らないようにご注意ください。万一、入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。内部にはガラス片が散乱しているおそれがありますので、ランプカバーを開けずに販売店へご連絡ください。

破裂注意

高温注意

▶必ず本書の「ランプについてのご注意」（📖**1-39**）、「ランプの交換方法」（📖**1-40**）をお読みになり、指定のランプを正しくご使用ください。
▶本機の仕様に合わないランプを使用すると、火災や故障の原因となったり、本機の寿命を縮める原因となることがあります。
▶使用中や使用後、ランプとその周辺は高温となりやけどの原因となります。ランプの交換は電源を切ってプラグを抜き、45 分以上放置して冷ましてから行ってください。
▶ランプに衝撃をあたえたり、傷つけたりしないように、丁寧に取り扱ってください。
▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

電池の取扱いに注意する

電池の取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいのでお子様やペットが飲み込むおそれがあります。
万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。
液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣服に着いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

破裂注意

▶交換するときは指定のタイプ（📖**1-24**）の新しい (未使用) 電池を使用してください。種類や銘柄の異なる電池を一緒に使用したり、古い (使用した) 電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。傷のある電池は使用しないでください。
▶電池ケースの極性表示（⊕、⊖）に従って正しく入れてください。
▶リモコンを長時間使用しない場合はリモコンから電池を取り出して保管してください。
▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
▶子どもやペットが届かないところに保管してください。
▶衝撃をあたえないでください。投げたり落としたりしないでください。
▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。
▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

重い物を載せたりぶら下げたりしない

不安定になって落ちたり倒れたりするとけがや破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災や感電の原因となることがあります。
▶本機の上に乗ったり、重い物を載せたりしないでください。
▶本書に指定のある場合や所定の別売品（販売店にお尋ねください）以外は、本機に取り付けたりぶら下げたりしないでください。

湿気、ほこりの多いところ、タバコの煙や湯気などの当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない

内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。また超音波式加湿器などで、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、故障や映像不良の原因となることがあります
湿気やほこりの多いところには置かないでください。
▶海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。
▶調理台、加湿器、植木鉢の近くなど、湿気の多いところに置かないでください。
▶喫煙所や人通りの多い場所に置かないでください。

高温になるところに置かない

内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。また熱や温風を当てるとキャビネットなどが傷む原因となることがあります。
温度が高くなるところには置かないでください。
▶直射日光の当たるところ、ヒーターやエアコンの噴出し口の近くなど、熱源の近くや温風が当たるところには置かないでください。
▶本機や付属品を電子レンジに入れないでください。

通風口をふさがない

通風が正常に行われないと内部温度が上がり過ぎて、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。
▶風通しの良いところに、周辺の壁や物から 30cm 以上離して設置してください。
▶吸気口、排気口をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
▶布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。
▶布や紙などの吸い付く物を、吸気口の近くに置かないでください。

エアーフィルターを定期的にお手入れする

エアーフィルターがほこりなどで詰まったり正しく取り付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて、本機の電源が自動的に切れたり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。
▶必ず本書の「エアーフィルターを掃除／交換する」（📖**1-41**）をお読みになり、指定のエアーフィルターを正しくご使用ください。
▶エアーフィルターは定期的にお手入れしてください。
▶エアーフィルターやフィルターカバーを外した状態では使用しないでください。

⚠注 意（つづき）

LAN 端子への接続は、事前にネットワーク管理者に相談する

ネットワークによっては過度の電圧をもつものがあります。
過度の電圧を生じる可能性があるネットワークは、安全のため、LAN 端子に接続しないでください。
▶公衆回線に接続する場合は、必ず電気通信事業法認定のルータ等に接続してください。

磁気を発生するものを近づけない

本機に磁気を近づけたり、磁気を発生するものの近くに置いたりすると、冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じることがあります。内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。
▶付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

使用しないときは電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜け

本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。
長時間ご使用にならない場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてください。電源プラグを接続したまま放置すると、火災などの原因となることがあります。
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。

落雷のおそれがあるときは使用しない

電源プラグをコンセントから抜け

火災や感電の原因となることがあります。
落雷のおそれがあるときは、使用を中止し、電源プラグを抜いてください。

年に一度は内部のお手入れを販売店に依頼する

内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。
年に一度は、内部の点検と掃除を販売店にご依頼ください。
▶お客様による内部のお手入れは危険ですので絶対におやめください。
▶内部のお手入れは、湿気の多くなる梅雨期の前が効果的です。

CD-ROM の取り扱いに注意する

付属の CD-ROM は、ケースに入れて大切に保管してください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。

お守りください

リモコンに衝撃をあたえないでください
破損や故障の原因となることがあります。
- ▶リモコンを投げたり落としたりしないでください。
- ▶上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。

リモコンをぬらさないでください
故障したり、電池が液漏れする原因となることがあります。
- ▶水を掛けたり、ぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。

リモコンと本機の受光部の間に物を置かないでください
リモコン送信の障害となって、リモコンが利かないことがあります。

レンズを傷つけないでください
破損や故障の原因となったり、映像不良の原因となることがあります。
- ▶使用しないときはレンズカバーを取り付けてください。
- ▶レンズに硬いものを当てたり、こすったりしないでください。お手入れは市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）をご使用ください。

レンズに何かを張り付けたり、密着させて置いたりしないでください
高温となってレンズ面が融け、映像不良の原因となることがあります。

レンズに直接手を触れないでください
レンズがくもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となることがあります。

光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください
リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。

電波を発生するものを避けてください
本機の近くで電波を発生する装置を使用すると、映像が乱れる原因となることがあります。携帯電話やトランシーバなどは本機から離れて使用ください。

お守りください（つづき）

電源は正しい手順で切ってください

正しい手順をふまずに電源プラグを抜いたりすると、冷却が正常に行われず、本機の寿命を縮めたり、投写ランプがつきにくくなることがあります。非常時を除き、電源は決められた手順（📖1-29）で切ってください。

▶停電などによって、正しい手順をふまずに電源を切った（切れた）場合は、電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。

電源を入れるときは他の機器より先に、切るときは他の機器より後に行ってください

接続している他の機器（コンピュータやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

キャビネットやリモコンの取扱い、お手入れについて

取扱いやお手入れの方法を誤ると、表面が変質したり塗装がはがれることがあります。お手入れは正しい方法（📖1-43）で行ってください。

▶ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。

▶ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品や、溶剤、研磨剤などは使用しないでください。

▶スプレーは使用しないでください。ガスや霧が本機の内部に入って、故障などの原因となることがあります。

▶化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。

長時間見るときは、ときどき目を休めてください

長時間連続して画面を見ると目が疲れます。
ときどき画面から離れて目を休めてください。

梱包材は大切に保管してください

修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

お知らせ

●本機の特性について

▶本機は周囲温度などの影響で、投写位置がずれたり、画面が歪んだり、フォーカスが変動することがあります。ランプが点灯してから性能が安定するまでの約 30 分程度は、特に変化が生じ易くなりますので、必要に応じて確認と再調整を行ってください。

●寿命部品について

光学部品（ランプ、液晶パネル、偏光板、PBS (Polarized Beam Splitter)、コントラストアップフィルム）および冷却ファンは寿命部品です。長時間お使いになると修理交換が必要になります。

▶本機は液晶パネルを使用した投写装置です。投写面（スクリーンや壁面など）の特性により、映像の色あいやコントラストが、テレビやコンピュータのモニタとは異なることがありますが、故障ではありません。

▶偏光スクリーンでは画面が赤味を帯びて見える場合があります。ご使用にならないでください。

▶本機は長時間連続使用を想定して設計されたものではありません。毎日 6 時間以上ご使用になる場合は、1 年未満でも寿命部品の交換が必要になることがあります。また 6 時間以上連続してご使用になったり、短時間でも繰り返しご使用になったりすると、寿命部品の交換サイクルは早くなります。

▶本機を傾けて使用すると、部品の寿命を縮めることがあります。アジャスタ脚の調節範囲以外は傾けて使用しないでください。

▶ランプが点灯してから短い時間のうちに電源を切らないでください。また電源を切った後 10 分間は電源を入れないでください。電源の入れたり切ったりを、高温状態で行ったり、短い時間に続けて行ったりすると、ランプが不点灯となったり、ランプの寿命を縮める原因となります。

●液晶パネルの焼きつきについて

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。静止画像や動きの少ない映像、液晶パネルの仕様（📖38）と縦横比が異なる映像などを、長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

●輝点、黒点について

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。画面上に輝点（光ったままの点）や黒点（光らない点）が見られることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

●結露にご注意ください

本機を、低温の室外から高温の室内に持ち込んだ場合など、本機の内部の投写レンズに結露が生じ、映像がぼやけたり、見えなくなったりすることがありますが、故障ではありません。
本機が周囲の温度に慣れるに従って露が消え、映像は正常にもどります。
本機は、使用環境に合わせて冷却ファンの速度を制御する機能を備えています。
周囲の温度が高いと冷却ファンの回転速度も速くなり、冷却ファンの回転騒音も大きくなります。

●冷却ファンの騒音について

本機は、使用環境に合わせて冷却ファンの回転騒音も大きくなります。

●ノートパソコンとの接続について

ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンの RGB 外部映像出力を有効（LCD と CRT の同時表示または CRT の設定）にしてご使用ください。詳しくはご使用になるノートパソコンの説明書をご覧ください。

●セキュリティ・スロット／バーについて

本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

●この製品は日本国内専用に設計されていますので、日本国外ではご使用にならないでください。

この製品の保証書は日本国内でのみ有効です。また有償／無償にかかわらず、日本国外でご使用の場合には、修理等のご依頼に応じることができませんのでご了承ください。
This product (including the accessories) is designed for use in Japan only, and cannot be used in any other countries. The warranty appended to this product is void out of Japan. For use out of Japan, we will not accept paid or free requests such as the repair.

●電源高調波について

高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第 3-2 部 : 限度値 - 高調波電流発生限度値 (1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

付属品の確認

初めに付属品をご確認ください。この製品にはプロジェクター本体（本機）の他に、以下のものが含まれています。万一不足しているものがあれば、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

リモコン

単 3 型乾電池× 2 個
（リモコン用）

電源コード

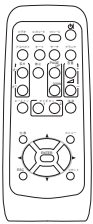
電源アダプタ

電源コードと二つ穴コンセントをつなげるアダプタです。

コンピュータケーブル

コンピュータの映像信号を本機に入力するためのケーブルです。

アダプターカバー

USB ワイヤレスアダプタの安易な脱落及び抜き取りを防ぐためのカバーです。

レンズカバー

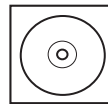
レンズを保護するカバーです。

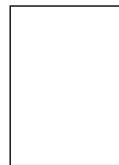
取扱説明書 CD-ROM
(User's Manual (detailed))

「取扱説明書 - 詳細版 -」が収録されています。

保証書

お買い上げの販売店名、お買い上げ日をお確かめのうえ、大切に保管してください。

アプリケーション CD-ROM
(Wireless & Network Software)

ネットワークに接続するための、"LiveViewer" のインストールディスクです。

かんたんガイド

最初に本機をご利用いただくのに便利な、簡易版 取扱説明書です。本機と一緒に保管し、必要なときにご参照ください。

警告

●不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない

●電源コードや信号ケーブルを傷つけない
本機など、重い物を載せないでください。

●電池の取扱いに注意する
子供やペットが届くところに放置しないでください。

お守りください

●梱包材は大切に保管してください。
修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

各部の名称

プロジェクター（本機）

端子パネル
コンピュータやビデオ /DVD プレーヤなどと接続します。

操作パネル
本機を操作するためのボタン、および本機の状態をお知らせするインジケータです。

AC IN（電源端子）(1-26)
電源コードを接続します。

排気口 ⚠ 高温注意
本機内部の排熱口です。
大変熱くなりますので、本機を使用中、使用後しばらくは、近づいたり触れたりしないでください。

セキュリティ・バー / セキュリティ・スロット (1-23)
ケンジントンロックなどの盗難防止用ロック、および盗難防止ワイヤー／チェーンを取り付けます。

ランプカバー (25) **⚠ 高温注意**
内側にランプが取り付けられています。
大変熱くなりますので、本機を使用中、使用後しばらくは、近づいたり触れたりしないでください。

背面

前面

ズームリング

フォーカスリング (1-34)
画面のズーム（表示倍率)、およびフォーカス（焦点距離）を調節します。

スピーカー
ここから音声が出ます。

リモコン受光部 (1-25)
リモコンからの信号を受け取ります。

アジャスタボタン

アジャスタ脚 (1-34)
本機の傾きを調節します。左右に一組ずつ、計二組あります。

フィルターカバー (1-41)
内側にエアーフィルターと吸気口があります。
物や手などでふさがないでください。

吸気口
空気を取り込む入口です。
物や手などでふさがないでください。

レンズ 🚫 のぞかない 映像が投写されます。
本機使用中は強い光が出ますので、絶対にのぞかないでください。

⚠ 警 告

	●衝撃をあたえない **アジャスタ脚**は、本体を落とさないように持った状態で操作してください。
	●レンズをのぞかない **本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。**
 高温注意	**●高温に注意する** 使用中や使用後しばらく、**排気口**に近づいたり、**ランプカバー**に触れたりしないでください。

操作パネル

メニューボタン（▲/▼/◀/▶ カーソルボタン）(📖2-2)
メニュー画面を表示します。（メニューを操作します。）

ランプインジケータ (📖4-33, 34)
本機のランプの状態についてお知らせします。

温度インジケータ (📖4-33, 34)
本機内部の温度状態についてお知らせします。

電源インジケータ (📖1-28, 29, 4-33, 34)
本機の電源の状態をお知らせします。

入力切替ボタン (📖1-31)
映像信号を切り替えます。

点灯／消灯ボタン (📖1-28, 29)
ランプの点灯 / 消灯（スタンバイ）を切り替えます。

端子パネル

USB タイプB 端子
USB ディスプレイ、または簡易マウス／キーボード機能を使用するための接続端子です。

HDMI 端子
DVD プレーヤなどからのデジタル映像／音声信号の入力端子です。

コンピュータ入力端子
コンピュータからの映像信号の入力端子です。

USB タイプ A 端子
USB メモリの接続端子です。

音声出力 端子
音声信号の出力端子です。

音声入力 3 端子 (R, L)
音声信号の入力端子です。

音声入力 1 端子
音声入力 2 端子
音声信号の入力端子です。

LAN 端子
LAN ケーブルの接続端子です。

マイク端子
マイクの接続端子です。

モニタ出力 端子
映像信号の出力端子です。

ビデオ端子
S- ビデオ端子
ビデオ /DVD プレーヤなどからの映像信号の入力端子です。

RS-232C 端子
コマンドの送受信端子です。

リモコン

前面

コンピュータボタン (📖1-31)
コンピュータ入力端子からの映像信号を選択します。

ビデオボタン (📖1-31)
HDMI 端子、**ビデオ**端子、**S- ビデオ**端子からの映像信号を選択します。

アスペクトボタン (📖1-33)
表示画面の縦横比を設定します。

オートボタン (📖1-35)
画面の自動調整を行います。

拡大オン / オフボタン (📖1-37)
画面の拡大オン / オフを行います。

静止ボタン (📖1-37)
一時的に表示画面を静止させるときに使用します。

キーストンボタン (📖1-36)
画面の台形歪みを補正します。

PAGE UP/DOWN ボタン
本機では使用しません。

位置ボタン (📖1-35)
画面の位置を調節します。

ESC ボタン (📖2-2)
メニュー画面の操作などに使用します。

マイソースボタン (📖1-32,2-29)
このボタンに登録した端子からの映像信号を選択します。

点灯／消灯ボタン (📖1-28, 29)
ランプの点灯 / 消灯(スタンバイ)を切り替えます。

サーチボタン (📖1-32)
本機に入力されている映像信を検索します。

ブランクボタン (📖1-38)
一時的に画面を消す時に使用します。

音量 + / − ボタン (📖1-30)
音量を調節します。

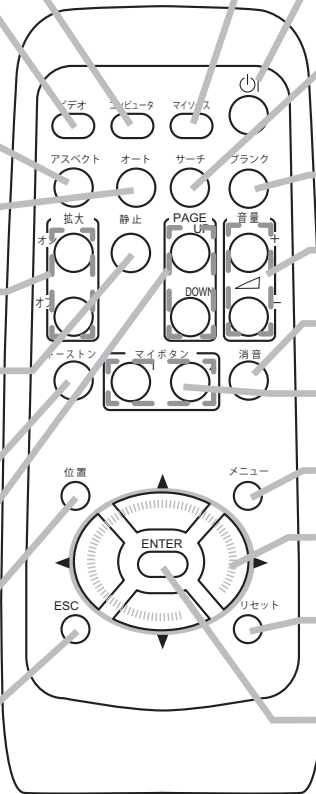
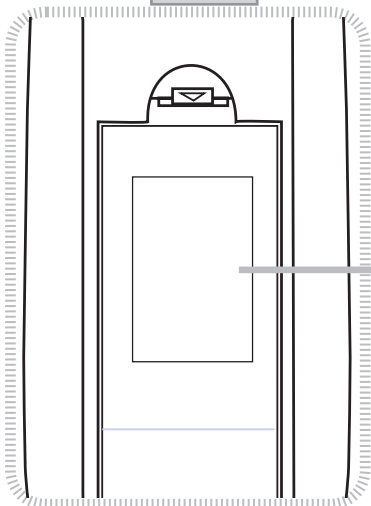
消音ボタン (📖1-30)
音声をオン／オフします。

マイボタン 1/2 (📖2-28)
機能を設定してご使用になれます。

メニューボタン (📖2-2)
メニュー画面を表示します。

カーソル（▲/▼/◀/▶）ボタン (📖2-2)

リセットボタン (📖2-2)

ENTER ボタン (📖2-2)
メニュー画面の操作などに使用します。

背面

電池カバー (📖1-24)
内側に電池ケースがあります。
電池の取り扱いには注意してください。

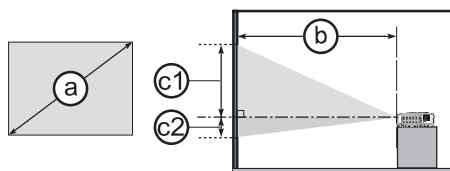
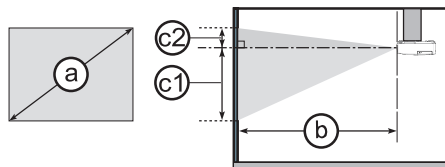
お知らせ

●リモコンの各機能は、信号などの条件によって動作が異なる場合があります。
詳しくは、各参照ページをお読みください。

準備・設置

設置する

本機は、高温、湿気、ほこりや直射日光を避け、安定した涼しい場所に設置してください。ご使用環境に合わせ、設置の方法と位置を決めてください。
プロジェクターとスクリーンの距離については下図および「かんたんガイド」の「設置する」をご覧ください。

ⓐ 画面サイズ (対角寸法) ⓑ 投写距離 (c1), (c2) スクリーン高さ

台や棚の上に置いて

お知らせ

●プロジェクターを 1,600m(5,250feet)以上の高地でご使用の場合には、"高地モード" の設定を "高地" にしてください。それ以外の場合は "標準" にしてください。
不適切な設定では、本機もしくは中身のパーツに故障を及ぼす恐れがあります。

(次ページにつづく)

電源プラグをコンセントから抜け	**●異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く** 電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。
高温注意	**●高温に注意する** 熱の伝わり易いものや燃え易いもの、熱に弱いものの上や近くで本機を使用しないでください。
分解禁止	**●分解しない、改造しない** 本機や付属品を加工しないでください。
	●衝撃をあたえない アジャスタ脚は本体を落とさないようにしっかり支えた状態で操作してください。
	●不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所には置かないでください。 キャスター（車）付きの台に載せる場合は必ずキャスター（車）止めをしてください。 アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。 設置器具の指定品をご使用になり、天吊り (天井設置) などの特殊な設置は、必ず販売店にご依頼ください。

(次ページにつづく)

（つづき）

●ぬらさない、ぬれる場所に置かない、油煙の当たるところに置かない
風呂場やシャワー室、調理台のある場所や機械油などを使用する場所などに置かないでください。海や川、プールなどの水辺の近くや屋外には置かないでください。水槽や植木鉢の近くに置かないでください。

⚠注 意

●湿気、ほこりの多いところ、タバコの煙や湯気などの当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない
調理台、加湿器、植木鉢の近くなど、湿気の多いところに置かないでください。特に超音波式加湿器などの近くでは、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、画像劣化や故障などの原因となることがあります。喫煙所や人通りの多い場所に置かないでください。

●高温になるところに置かない
直射日光の当たるところ、ヒーターやエアコンの噴出し口の近くなど、熱源の近くや温風が当たるところには置かないでください。

●通風口をふさがない
風通しの良いところに、周辺の壁や物から 30cm 以上離して設置してください。
通風口をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。
布や紙、テーブルクロスなどの吸い付く物を、吸気口の近くに置かないでください。

●磁気を発生するものを近づけない
付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

お守りください

●設置の際は、本機とスクリーンとの間に障害物がないことをよく確認してください。
●本機と壁などとのスペースを 30cm 以上とってください。
●設置器具は指定品をご使用になり、天吊り（天井設置）などの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。
●セキュリティ・スロット／バーを落下防止用に使用する場合は、販売店にご相談ください。
●光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください。
●電波を発生するものを避けてください。

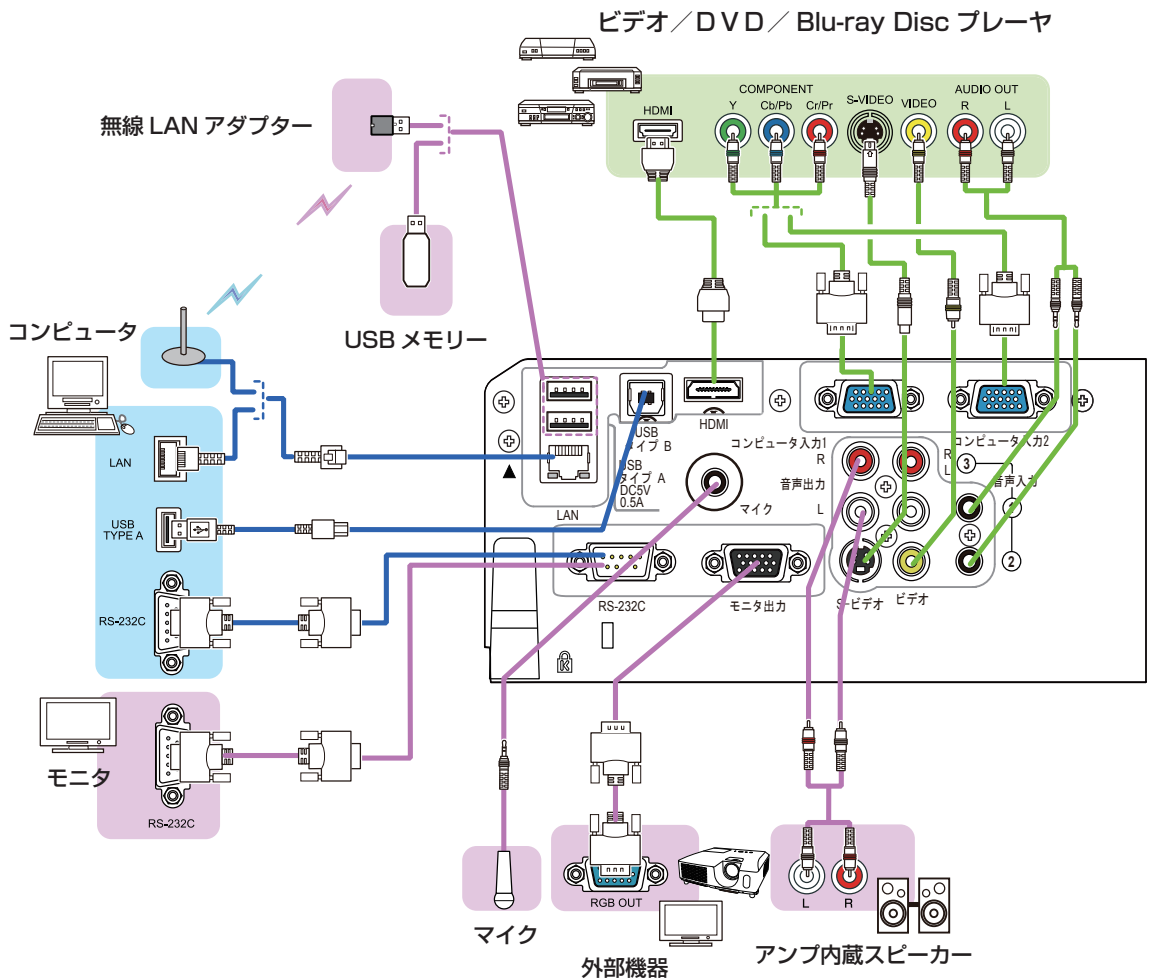
お知らせ

●天吊り設置にすると、本機はプラスチック製のため、映像表示位置が変わることがあります。
再設定が必要な場合は、販売店または業者にお問い合わせください。
●製品には個体差があります。表の数値には誤差（± 10%）が生じることがありますので、設置の際にはご注意ください。
●リモコン受光部に蛍光灯などの不要な光が入ると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
この場合には本機の位置を調節してください。

他の機器と接続する

接続の前に、本機と接続してご使用になる機器の説明書をよくお読みください。信号によっては、特定のアダプタが必要な場合や、本機では正しく表示できない場合があります。

解像度などの仕様が本機に合うことを確認し、必要な信号ケーブルやアダプタを準備してください。本機の端子形状は「入出力信号端子」（📖4-4 ～ 8）をご覧ください。本機および接続する機器の電源が切れていることを確認し、以下の図をご参考に接続を行ってください。

コンピュータ入力端子にコンポーネントビデオ信号を入力するには、「コンピュータ入力端子へのコンポーネントビデオ信号の入力について」（📖4-8）をご覧ください。

(次ページにつづく)

警告

分解禁止

●分解しない、改造しない

本機や付属品を加工しないでください。

●信号ケーブルやコネクタを傷つけない

傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。本機など、重い物を載せないでください。ヒーターや本機の通風口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。投げたり、ひきずったりしないでください。加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。

●信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する

本機に同梱されているものは必ず同梱品をご使用ください。同梱品以外の信号ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ、適切なものをご使用ください。

注意

電源プラグをコンセントから抜け

●接続するときは電源プラグを抜く

接続作業は、本機や接続する機器の電源を切って行ってください。本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。

お守りください

●接続はコネクタの形状や向きを確かめながら、正しく行ってください。正しく接続されていないと本機や接続される機器の故障の原因になります。固定ネジがあるものはネジをきちんと締めて固定してください。

●本機の各接続端子は凹んでいるので、L 形ではなく、ストレート形プラグのケーブルを使用してください。

お知らせ

●ノートパソコンや、ディスプレイ一体型コンピュータなどと接続する場合は、RGB 外部映像出力を有効（LCD と CRT の同時表示または CRT の設定）にしてご使用ください。詳しくはご使用になるノートパソコン、ディスプレイ一体型コンピュータの説明書をご覧ください。

●入力信号によっては、本機の自動調整機能（📖**1-35**）が正しく働かなかったり、映像を表示できなかったりすることがあります。また複数の表示モードを持っているコンピュータでは、本機が対応していないモードを含む場合があります。あらかじめご確認ください。

●コンピュータ上で解像度を切り替えるとき、本機の自動調整機能が正常に動作しなかったり通常より時間がかかったりすると、解像度切替えのための画面表示が確認できず、もとの解像度に戻ってしまうことがあります。このような場合は、別の表示装置を使って解像度を切り替えてください。

●本機は UXGA(1600 × 1200) 信号まで表示できますが、信号処理の過程で本機の液晶パネルの解像度に変換しています。映像品質は入力信号と本機のパネルの解像度が同じときに最良です。

●本機は VESA DDC 2B に対応しています。本機を VESA DDC（Display Data Channel）対応のコンピュータに接続してご使用になると、プラグ & プレイを実現できます。

※プラグ & プレイは、コンピュータと、表示装置などの周辺機器、およびオペレーティングシステムによって構成されるシステムです。

・本機の**コンピュータ入力**端子とコンピュータを付属のコンピュータケーブルで接続してご使用ください。

・本機は「プラグ＆プレイ・モニタ」として認識されます。このとき、ディスプレイドライバは、標準のものをご使用ください。

・接続するコンピュータによってはプラグ＆プレイが動作しない場合があります。

●本機の **HDMI** 端子は HDCP（High-bandwidth Digital Content protection）に対応しています。HDCP 対応の DVD プレーヤなどのビデオ信号を表示することができます。

●本機は、以下の HDMI 信号に対応しています。

・ビデオ信号：480i@60, 480p@60, 576i@50, 576p@50, 720p@50/60, 1080i@50/60,1080p@50/60

・コンピュータ信号：「コンピュータ信号について」（📖**4-2**）をご参照ください

●本機は、HDMI および DVI 対応機器に接続することができますが、機器によっては映像が映らない、音声が出力されないなど、正常に動作しない場合があります。

● DVI 対応機器を本機に接続する場合は、DVI-HDMI 変換ケーブルで本機の **HDMI** 端子に接続してください。

● HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ付きのものをご使用ください。

●マイク使用時にハウリング（キー音）が発生した場合は、マイクをスピーカーから離したり音量を下げてご使用ください。

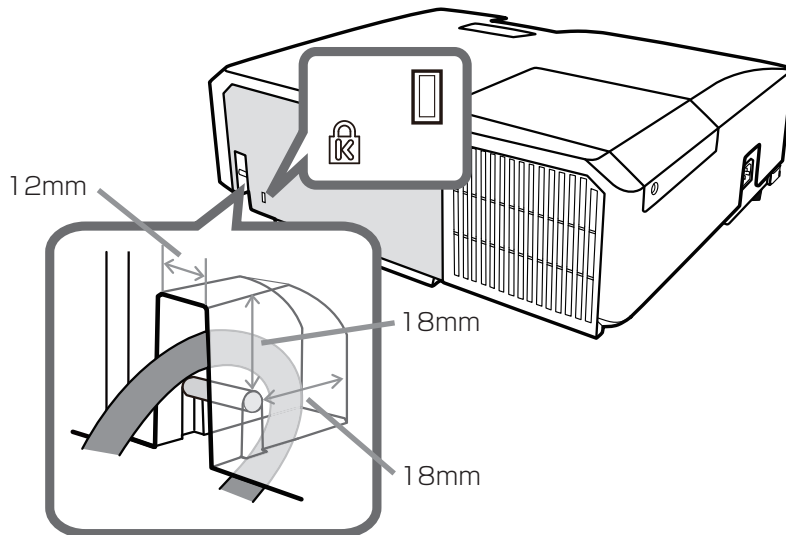
●本機の MIC 端子は、プラグインパワーマイク（マイク端子から電源供給を受けるコンデンサー型マイク）には対応しておりません。

● MIC 端子に、ワイヤレスマイクなどからのラインレベルの音声信号を入力する場合は、「オーディオ」メニュー（📖**2-19**）の「マイクレベル」を「高」に設定してください。

●マイクの音量は、本機の動作中は「オーディオ」メニューの「マイク音量」から調節してください。スタンバイ時は、音量 ＋／－ボタンで、その他の音声入力と同時に調節することができます（📖**1-30**）。また、「オーディオ」メニューの「音声入力設定」で「スタンバイ」に「」が設定されていても、マイク音量は調節することができます。消音ボタンは、マイク入力とその他の音声入力で、同様に機能します（📖**1-30**）

● USB 記憶装置が大きくて、LAN 端子にケーブルがささらなくなるほど邪魔する場合は、USB 延長ケーブルを使用して USB 記憶装置を接続してください。

セキュリティ・スロット／バーを使う

本機は、市販の盗難防止用ロックをご使用になるためのセキュリティ・スロットと、盗難防止用ワイヤーやチェーンをご使用になるためのセキュリティ・バーを備えています。
セキュリティ・バーには直径 10mm までのワイヤーまたはチェーンを取り付けることができます。
詳細はご使用になる盗難防止用ロック、盗難防止用チェーン / ワイヤーの説明書をご覧ください。

お守りください

●盗難防止用チェーン / ワイヤーは、高温になりますので排気口に近づけないでください。

お知らせ

●本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

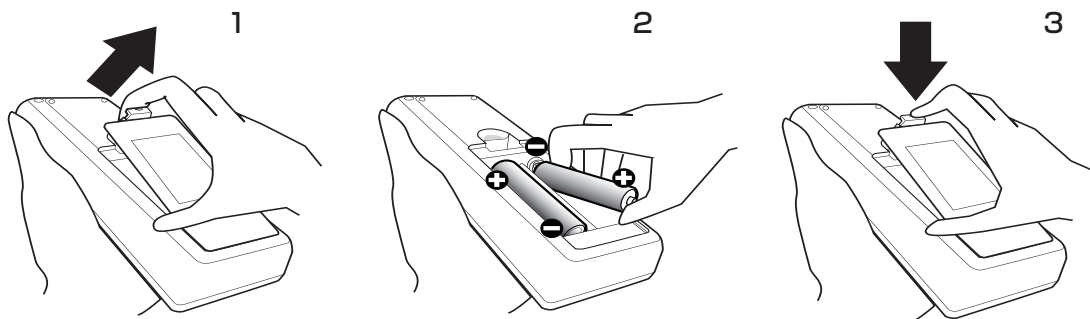
リモコンを準備する

電池を入れる

付属のリモコンは単３型乾電池２本を使用します。ご使用の前に電池をリモコンに入れてください。
電池は必ず下記のものをご使用ください。

付属リモコン用電池：日立マクセル製または日立マクセルエナジー製、型名 LR6 または R6P

１．電池カバーのつまみを軽く手前に引きながら電池カバーを外してください。
２．リモコンの中に表示された極性表示（⊕、⊖）を確認し、電池の向きを合わせて入れてください。
３．電池カバーをもとのように閉じてください。

破裂注意

●**電池の取扱いに注意する**

取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいので、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。

万一、電池を飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

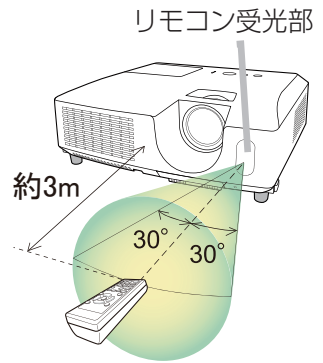
液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

▶電池は、必ず指定のタイプ（上記）の新しい電池を使用してください。損傷のある電池は使用しないでください。種類や銘柄の異なる電池を一緒に使用したり、古い（使用した）電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。
▶電池は、電池ケースの極性表示（⊕、⊖）に従って正しく入れてください。
▶リモコンを長時間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出して保管してください。
▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
▶子どもやペットが届かないところに保管してください。
▶衝撃をあたえないでください。投げたり落としたりしないでください。
▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。電池の電極部に金属を接触させせないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。
▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

(次ページにつづく)

リモコン信号について

付属のリモコンは、本機のリモコン受光部へ信号を送って機能します。リモコン信号は、受光部への入射角度左右に各 30°、距離約 3 mの範囲で有効です。
リモコン信号は、スクリーンなどに反射させて操作できる場合もあります。（反射面によっては反射できない場合もあります。）

また、受光部に蛍光灯などの不要な光が入ると、リモコンが正常に動作しないことがあります。この場合には本機の位置を調整してみてください。

●高温に注意する

排気口の近くにリモコンを置かないでください。

●分解しない、改造しない

リモコンを加工しないでください。

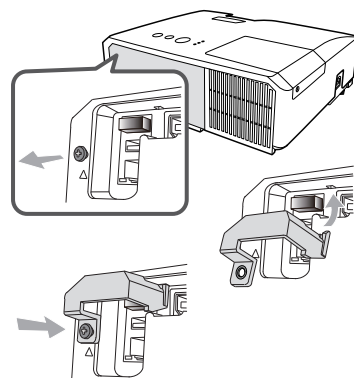
お守りください

●リモコンに衝撃をあたえないでください。リモコンを投げたり落としたり、上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。
●リモコンに水を掛けたり、リモコンをぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。
●リモコンと本機の受光部の間に物を置かないでください。リモコンは赤外線で本機に信号を送っています。（クラス 1 LED 製品）リモコンと本機の受光部の間に障害物があると、リモコンが利かないことがあります。
●光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください。リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。

基本操作

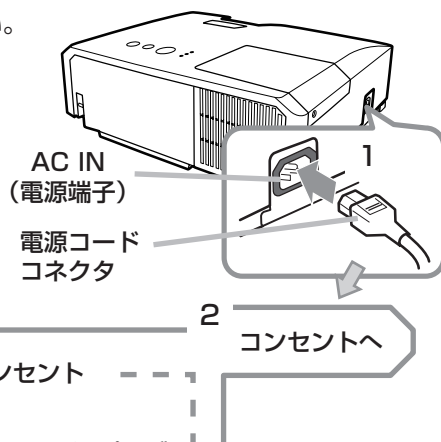
アダプターカバーの取り付け

USB 無線アダプターの安易な脱落 (及び抜き取り) を防ぐため、同梱のアダプターカバーを使用してください。

1. USB タイプ A 端子の左下にあるねじ (三角付き) を外してださい。
2. カバーの突起を、USB タイプ A 端子の右上にある穴に矢印の方向に差し込んでください。
3. プロジェクターと (アダプター) カバーのねじ穴を合わせてください。プロジェクターから外したねじを (ねじ）穴に差し込み、きっちり締めてください。

電源に接続する

本機の電源端子と AC（交流）100V の電源コンセントを、付属の電源コードと必要に応じて電源アダプタで接続してください。

⇒ **本機を電源に接続する前に、必ず「使用上のご注意」(📖1-3 ～ 11) をご確認ください。**

1. 電源コードのコネクタ側を本機の AC IN に接続してください。
2. ■ **3 つ穴コンセントをご使用のとき**
   電源プラグをコンセントに接続してください。
   ■ **2 つ穴コンセントをご使用のとき**
   電源アダプタのアース線をコンセントのアース端子に接続してから、電源アダプタをコンセントに接続してください。その後、電源プラグを電源アダプタに接続してください。

電源が接続されると、本機はスタンバイ状態となり、操作パネルの電源インジケータが橙色に点灯します。

お知らせ

●「その他」メニューで「ダイレクトパワーオン」を「有効」にすると（📖**2-25**）、電源に接続したとき自動的にランプが点灯します。

●小さな部品にはお子様やペットが届かないようにしてください。口に (小さな部品を) 入れないようご注意ください。

●使用中 USB ワイヤレスアダプター内部が高温となる場合があるので、やけど防止のため、電源ケーブルを外して 5 分以上は、アダプターには触らないでください。

(次ページにつづく)

電源プラグを
コンセント
から抜け

●異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。

●指定の電源電圧で使用する
必ず、本体に表示されている指定電圧、交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。

●電源コードや電源アダプタは同梱品を使用する
電源コードや電源アダプタは本機に付属のものをご使用ください。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。

●電源プラグは付着物をふき取ってから使用する
必ず接続の前に、接続部やその周辺に付着しているほこりや金属類など取り除いてください。

●電源プラグは根元まで確実に差し込む
ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。たこ足配線はしないでください。

●電源を、複数の機器へ分配して使用しないでください。
分配して使用すること）は、コンセントやコネクタに過負荷をかけるかもしれないし、接続を緩めること原因となるかもしれず、火災や感電、その他の災害に帰着するかもしれません。

アース線を
必ず接続せよ

●アース線を必ず接地する
2 つ穴コンセントを使用する場合、付属の電源アダプタをご使用になり、必ずアース線を接続してください。アース線の接続は電源アダプタをコンセントに差し込む前に、アース線を外すときは電源アダプタをコンセントから抜いてから、行ってください。

●電源コードや電源アダプタを傷つけない
傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。本機など、重い物を載せないでください。ヒーターや本機の通風口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。投げたり、ひきずったりしないでください。加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。

●ぬれた手で電源を接続したり外したりしない
ぬれた手で電源コードや電源アダプタを取り扱わないでください。

●アース線をコンセントに差し込まない
アース線はアース端子以外には接続しないでください。

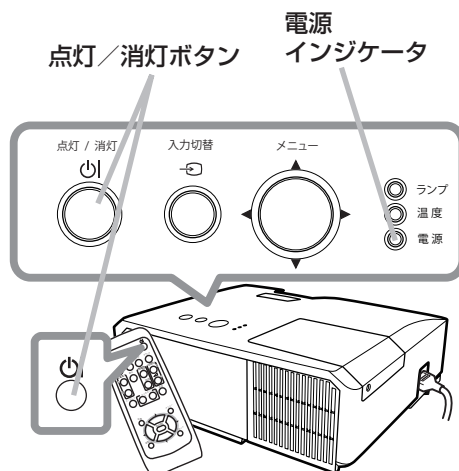
お守りください

●接続している他の機器（コンピュータやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、接続している他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

電源を入れる

⇒ **本機の電源を入れる前に、必ず「使用上のご注意」(📖5 ～ 8) をご確認ください。**

1. 電源コードが正しく接続され、操作パネルの電源インジケータが橙色に点灯していることを確認してください。レンズカバーをはずしてください。
2. リモコンまたは操作パネルの**点灯／消灯**ボタンを押してください。
3. ランプが点灯すると、スタートアップ画面が表示されます。電源インジケータは点滅をやめ緑色に点灯します。

絶対にレンズや投写光をのぞかないでください。

 警 告

●レンズをのぞかない
本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

高温注意

●高温に注意する
使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、レンズやランプカバーに触れたりしないでください。

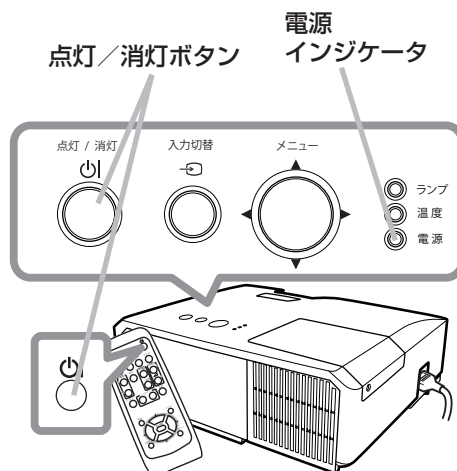
お守りください

●本機の電源は、接続いしている他の機器より先に入れてください。接続している他の機器（コンピュータやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

お知らせ

●「その他」メニューで「ダイレクトパワーオン」を「有効」にすると（📖**2-25**)、電源に接続したとき自動的にランプが点灯します。

電源を切る

1. リモコンまたは操作パネルの**点灯／消灯**ボタンを押してください。「電源を切りますか？」のメッセージが約５秒間表示されます。
2. もう一度**点灯／消灯**ボタンを押してください。電源インジケータが橙色に点滅を始めると共にランプが消灯・冷却を始めます。
3. 冷却が終わると電源インジケータは点滅をやめ、橙色に点灯します。電源を切った場合は、レンズカバーを取り付けてください。

ランプが点灯してから短い時間のうちに電源を切らないでください。また電源を切った後 10 分間は電源を入れないでください。電源の入れたり切ったりを、高温状態で行ったり、短い時間に続けて行ったりすると、ランプが不点灯となったり、ランプの寿命を縮める原因となります。

●レンズをのぞかない
本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

高温注意

●高温に注意する
使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、レンズやランプカバーに触れたりしないでください。

電源プラグをコンセントから抜け

●使用しないときは電源プラグを抜く
本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。

お守りください

●本機の電源は、接続している他の機器より後に切ってください。接続している他の機器（コンピュータやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

お知らせ

● 「その他」メニューの「オートパワーオフ」（📖**2-26**）を「有効」に設定している場合、無信号状態が設定した時間だけ続くと自動的にランプが消灯します。

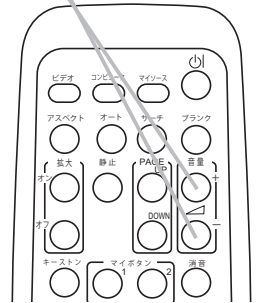
音量を調整する

音量 +/- ボタン

音量を調整するために**音量 +/ 音量 -** ボタンを使います。

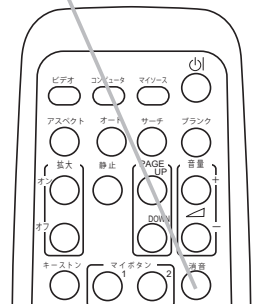
音量を調整中は画面上にダイアログが表示されます。なにも操作が行われないと、ダイアログが数秒後に自動的に消えます。

- 「オーディオ」メニュー（**2-19**）の「音声入力設定」で「　」が選択されている端子からの入力信号を選択しているときには、音量は調節できません。また､「音声出力 スタンバイ」に「　」が選択されているか､「スタンバイモード」（**2-18**）が「省電力」に設定されていると本機がスタンバイ状態の時には音量を調節できません。
- スタンバイモードでは、リモコンの VOLUME +/- ボタンを操作すると、プロジェクターの音量と同期して、調節することができます。

音声を消す

消音ボタン

リモコンの**消音**ボタン を押してください。音声が消え、消音ダイアログ (音声調節のためのガイドの先頭に「　」が表示されているもの）が表示されます。ダイアログは約 5 秒で消えます。

もう一度**消音**ボタン を押すか、**音量 +/ 音量 -** ボタンを押して音量の調整を開始すると、音声は復帰します。

- 「オーディオ」メニュー（**2-19**）の「音声入力設定」で「　」が選択されている端子からの入力信号を選択しているときには、**消音**ボタン を押さなくても本機の内蔵スピーカーから音声は出力されません。また、「音声出力 スタンバイ」に「　」が選択されているか、「スタンバイモード」（**2-18**）が「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態の時には､**消音**ボタン を押さなくても**音声出力**端子から音声は出力されません。
- 「スクリーン」メニューの「C.C.」（**2-24**）で、「ディスプレイ」が「オート」に設定されている場合、C.C. 対応の、NTSC 方式のビデオ信号、S- ビデオ信号、または 480i@60 コンポーネントビデオ信号を受信しているときに**消音**ボタン を押すと、自動的に C.C. 機能が有効になります。

画面を調整する

入力信号を選ぶ

■ 入力切替ボタンを押す

1．操作パネルの**入力切替**ボタンを押すごとに入力端子を切り替えることができます。選択されていた端子を起点に以下の順序で切り替えます。

コンピュータ入力 1 →コンピュータ入力 2 → LAN

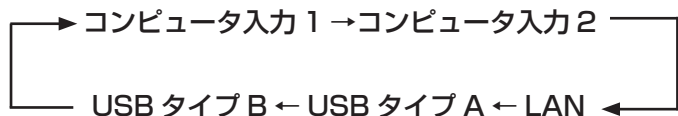
ビデオ← S- ビデオ← HDMI ← USB タイプ B ← USB タイプ A

●「その他」メニューの「オートサーチ」が「有効」（📖**2-25**）の場合は、正常な入力信号を検出するまで、各端子を自動的に検索します。

■ リモコンのコンピュータボタン を押す

1．リモコンの**コンピュータ**ボタンを押すと、信号の入力端子を**コンピュータ入力**に切り替えることができます。

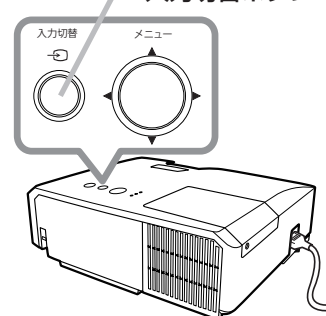
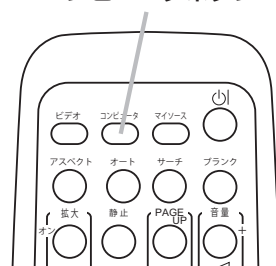
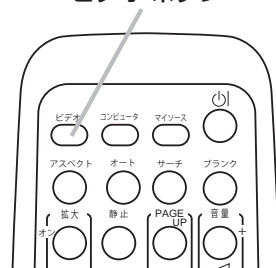
コンピュータ入力 1 →コンピュータ入力 2

USB タイプ B ← USB タイプ A ← LAN

●「その他」メニューの「オートサーチ」が「有効」（📖**2-25**）の場合は、正常な入力信号を検出するまで、各端子を自動的に検索します。**ビデオ ,S- ビデオ**のいずれかの端子が選択されていたときに、**コンピュータ**ボタン が押されると、**コンピュータ入力**端子を最初に検索します。

■ リモコンのビデオボタン を押す

1．リモコンの**ビデオ**ボタン を押すごとに **HDMI、S- ビデオ、ビデオ**の入力端子を切り替えることができます。選択されていた端子を起点に以下の順序で切り替わります。

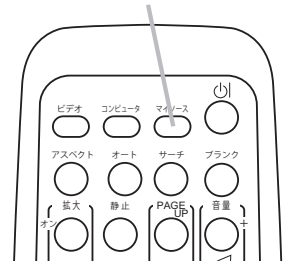
HDMI → S- ビデオ → ビデオ

●「その他」メニューの「オートサーチ」が「有効」（📖**2-25**）の場合は、正常な入力信号を検出するまで、各端子を自動的に検索します。**コンピュータ入力**端子が選択されていたときに、**ビデオ**ボタン が押されると、**HDMI** 端子を最初に検索します。

画面を調整する

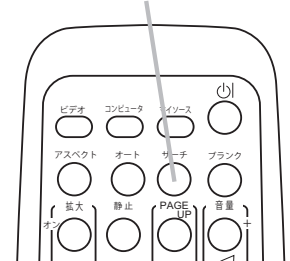
入力信号を選ぶ（つづき）

■ リモコンのマイソースボタンを押す

1．リモコンの**マイソース**ボタンを押すと、「マイソース」(📖**2-29**) に設定した信号に入力端子を切り替えることができます。

●この機能はドキュメントカメラにも使用可能です。このボタンを押すことで、ドキュメントカメラを接続した入力端子を選択します。

入力信号を検索する

■ リモコンのサーチボタン を押す

1．リモコンの**サーチ**ボタン を押すと入力信号の検索を開始します。入力を検出したら検索をやめ、画像を表示します。入力信号が見つからない場合は、**サーチ**ボタン を押したときの状態に戻って終了します。

●「その他」メニューの「オートサーチ」が「有効」(📖**2-25**) の場合は、正常な入力信号を検出するまで、各端子を自動的に検索します。

● USB タイプ B 端子からの画像を表示するには、数秒時間がかかることがあります。

アスペクト（画面の縦横比）を選ぶ

リモコンのアスペクトボタン を押す。

1．リモコンの**アスペクト**ボタン を押すたびに、以下の順序で表示画面の縦横比が切り替わります。

CP-X3015WNJ, CP-X4015WNJ

■ コンピュータ信号を表示しているとき…

ノーマル → 4:3 → 16:9 → 16:10 →（ノーマルに戻る）

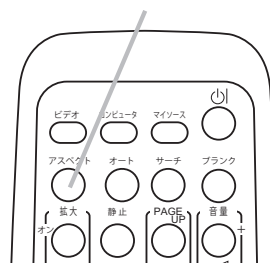
■ HDMI 信号を表示しているとき

ノーマル → 4:3 → 16:9 → 16:10 → 14:9 →（ノーマルに戻る）

■ ビデオ信号、S- ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を表示しているとき

4:3 → 16:9 → 14:9 →（4:3に戻る）

■ 信号の入力がないとき、もしくは **LAN、USB タイプ A、USB タイプ B** の信号を表示しているとき

4:3（固定）

CP-WX3015WNJ

■ コンピュータ信号を表示しているとき…

ノーマル → 4:3 → 16:9 → 16:10 → リアル →（ノーマルに戻る）

■ HDMI 信号を表示しているとき

ノーマル → 4:3 → 16:9 → 16:10 → 14:9 →リアル →（ノーマルに戻る）

■ ビデオ信号、S- ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を表示しているとき

4:3 → 16:9 → 16:10 → 14:9 → リアル →（4:3に戻る）

■ 信号の入力がないとき、もしくは **LAN、USB タイプ A、USB タイプ B** の信号を表示しているとき

16:10（固定）

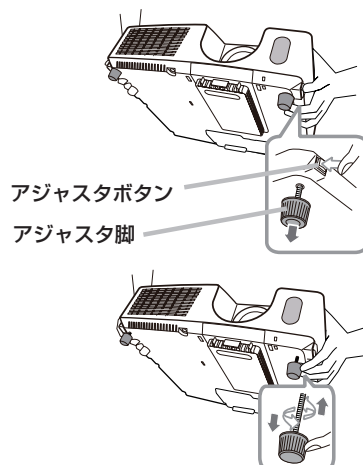
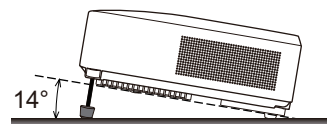
お知らせ

●信号の入力がないとき、**アスペクト**ボタン は動作しません。
●ノーマルモードではオリジナルのアスペクト設定を保ちます。

傾きを調節する

スクリーンなどの投写面に傾きがある場合は、アジャスタ脚を使って本機のレンズ面と投写面をできるだけ平行にしてください。本機のアジャスタ脚では、水平な設置面に対し、前上がりに最大 14° まで傾けることができます。

アジャスタ脚とアジャスタボタンは、本機の左右側面下部、前寄りに一組ずつ計二組あります。アジャスタボタンを押しながら、脚の長さが変えられます。アジャスタ脚の固定がはずれると、本機が落ちることがありますので、アジャスタボタンは本機を持ちながら操作してください。

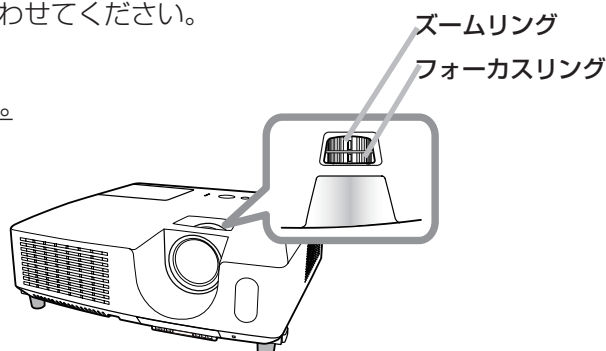
1. 後部を設置面に着けたまま、本体を背面から両手で支え、アジャスタボタンを押してください。アジャスタ脚の長さが変えられるようになります。
2. アジャスタボタンを押したまま、本機の位置（角度）を決めます。お好みの位置でアジャスタボタンを放してください。アジャスタ脚が固定されたのを確認して、静かに本体を置いてください。
3. アジャスタ脚をネジのように回すと、アジャスタ脚を固定したまま長さを微調節できます。必要に応じてお使いください。

 警 告

	●衝撃をあたえない アジャスタ脚の調節は、本体を持ちながら行ってください。
	●不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない アジャスタ脚の調節以外の方法で傾けて設置しないでください。
	●傾けて使用しない 傾けてのご使用は、前後方向 (前上がり) 14° 以内で設置してください。 14° 以上の角度に傾けた状態でのご使用は故障や寿命を縮める原因となります。

ズーム（表示倍率）、フォーカス（焦点）を調節する

投写画面を見ながら、ズームリングを左右に回して映像画面の大きさを調節してください。

フォーカスリングを左右に回して映像の焦点を合わせてください。

絶対にレンズ、投写光をのぞかないでください。

画面の自動調整機能を使う

オートボタン

リモコンの**オート**ボタン を押すと、以下の自動調整が実行されます。

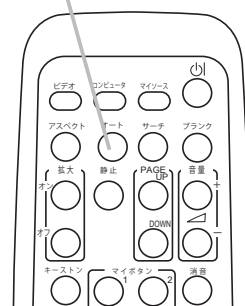
■ **コンピュータ信号を表示しているとき**

画面の垂直位置、水平位置、クロック位相が自動的に調整されます。コンピュータで、アプリケーションのウィンドウを最大化表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。

■ **ビデオ信号、S-ビデオ信号を表示しているとき**

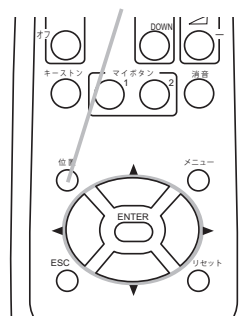
入力信号のビデオフォーマットが自動的に選択されます。この機能は、「入力」メニューの「ビデオフォーマット」が「オート」に設定されているとき（📖**2-13**）のみ有効になります。画面の水平位置と垂直位置が自動的に初期設定に戻ります。

■ **コンポーネントビデオ信号を表示しているとき**

画面の垂直位置、水平位置、が自動的に初期設定に戻ります。クロック位相は、自動調整されます。

お知らせ

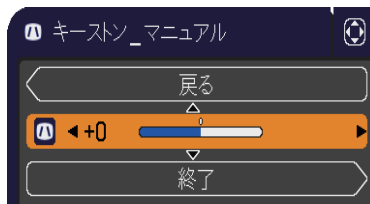
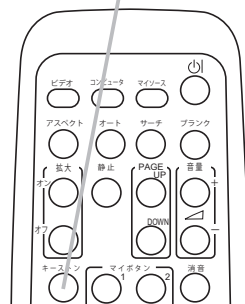
- ●自動調整には 10 秒程度の時間がかかることがあります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。
- ●ビデオ信号を自動調整すると、画像の外側に線などが表示されることがあります。
- ●コンピュータ信号を自動調整すると、コンピュータによっては、表示映像の縁に黒い枠が表示されることがあります。
- ●「その他」メニューの「特別な設定」-「オートアジャスト」で、「詳細」または「無効」が設定されていると（📖**2-30**）、自動調整される項目が変わります。

画面の位置を調節する

1. リモコンの**位置**ボタンを押してください。「位置」ダイアログが表示されます。
2. ダイアログが表示されている間に、カーソルボタン ▲/▼/◀/▶ で画面位置を調節してください。画面の位置調節を取り消すにはダイアログが表示されている間にリモコンの**リセット**ボタンを押してください。画面をもとの位置に戻すことができます。終了するには、もう一度**位置**ボタンを押してください。なにも操作をしないと、数秒後にダイアログが自動的に消えます。

お知らせ

- ● ビデオ信号または S-ビデオ信号またはコンポーネントビデオ信号を受信しているときは画面の周囲に余分な線などが現れる場合があります。
- ● ビデオ信号、S- ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」（📖**2-9**）の設定に依存します。「オーバースキャン」が 10 に設定されている場合は、調節できません。
- ●メニューが表示されているときに**位置**ボタンを押すと、画面の位置は動かず、メニューの表示位置を調節することができます。
- ● この機能は HDMI、LAN、USB タイプ A、USB タイプ B の信号を受信しているときはご利用になれません。

キーストン（台形歪み）を調節する

1．リモコンの**キーストン** ボタンを押してください。「キーストン」メニューが表示されます。
2．カーソルボタン▲ / ▼で「オート」または「マニュアル」を選択してください。
「オート」は垂直方向のキーストン（台形歪み）を自動補正します。カーソルボタン ► で実行してください。
「マニュアル」はキーストン（台形歪み）を手動で補正できます。カーソルボタン ► を押すと「キーストン」ダイアログが表示されますので、◄/► で補正量を調節してください。

キーストン ボタン

数秒間なにも操作を行わないか、もう一度**キーストン** ボタンを押すと、ダイアログが消えてキーストンの調節を終了します。

お知らせ

●メニューやダイアログは、操作さずに数分が経過すると、自動的に消去します。
キーストンボタンをもう一度押すと、操作は終了し、メニューやダイアログを閉じます。
●キーストン補正の調節範囲は表示信号によって異なります。また、表示信号によっては正しく動作しないことがあります。
●設置方法(📖**2-17**)が「前面投射 / 机上」以外に設定されているときに、スクリーンが傾いていたり、本機を下向きに投映させたりすると、正しく補正できないことがあります。
●ズーム調節が TELE(小さく表示）側に調節されていると、過補正となることがあります。この機能は、できるだけズーム調節を WIDE(大きく表示）に調節してお使いください。
●本機の傾きが (前後方向) 約± 4˚ 以下に設置されているとき、オートキーストンは動作しません。
●本機の傾きが (前後方向) 約± 30˚ 以上に設置されているとき、オートキーストンは正しく動作しません。
●この機能は状態監視機能が有効のときは選択できません。(「セキュリティ」メニューの「状態監視」📖**2-51** ）
●キーストン切替時に一瞬画面が暗くなりますが故障ではありません。

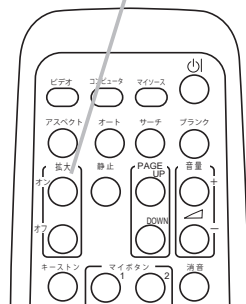
画面を拡大する

1．リモコンの**拡大 - オン**ボタンを押すと、画面が 1.5 倍に拡大表示され、「拡大」ダイアログが表示されます。数秒間なにも操作をしないと表示は消えます。このダイアログに表示される三角形のマークは , 拡大領域の移動できる方向を表しています。

2. ダイアログの三角形のマークが表示されている間に、カーソルボタンの▲ / ▼ /◀/▶ を使って拡大領域を移動させることが出来ます。

3. ダイアログの三角形のマークが表示されている間に**拡大ーオン**ボタンを押すと、ダイアログ中に虫メガネのアイコンが表示されます。

拡大 - オン / オフボタン

● コンピュータ信号もしくは HDMI® (RGB) 信号からの入力信号を表示しているとき

1.5 倍 → 2 倍 → 3 倍 → 4 倍 → 1 倍

● ビデオ信号、S - ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号もしくは HDMI® (コンポーネント) 信号

1.5 倍 → 2 倍 → 1 倍

4. ダイアログに虫メガネのアイコンを表示している間、▲ / ▼ / ◀ / ▶カーソルボタンを使用して倍率を調整します。

5. 拡大表示を解除するには、リモコンの**拡大ーオフ**ボタンを押してください。

お知らせ

●拡大ダイアログを表示している間に拡大領域の移動 (三角形がある) と倍率調整 (虫メガネのアイコンがある) を切り換えるためには、**拡大ーオン**ボタンを押してください。

●入力信号が変化したときや表示状態を変更する操作（自動調整やアスペクトの切替えなど）を実行したときにも画面の拡大は終了します。

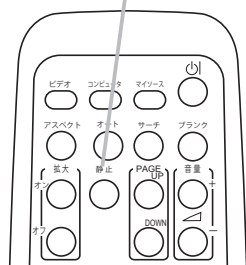
●拡大機能を有効にすると、キーストン補正の状態が正しく表示されないことがありますが、拡大表示を解除すると、もとの状態に戻ります。

●拡大していると水平な縞が画面上に現れることがあります。

映像を静止させる

リモコンの**静止**ボタンを押すと「静止」ダイアログが表示され、映像が静止します。

「スクリーン」メニューの「メッセージ」（📖**2-22**）を「表示しない」に設定していると、「静止」ダイアログは表示されません。映像の静止を解除するには、もう一度**静止**ボタンを押してください。

静止ボタン

お知らせ

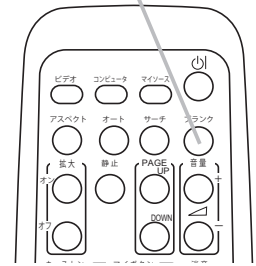
●操作パネルのボタンを押したときにも、映像の静止を終了します。

●本機は同じ映像を長時間表示し続けると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがあります。映像を静止させたまま放置したり、終了するのを忘れたりしないようご注意ください。

●静止している映像が劣化してみえるかもしれませんが、故障ではありません。

映像を一時的に消す（ブランク）

リモコンまたは操作パネルの**ブランク**ボタン を押すと、映像が消えてブランク画面が表示されます。ブランク画面は「スクリーン」メニューの「ブランク」(📖**2-20**)で設定できます。

もう一度**ブランク**ボタン を押すともとの映像表示に戻ります。

お知らせ

- ●操作パネルのボタンを押したときにもブランク画面の表示を終了します。また、リモコンの他のボタンを押した時にもブランク画面の表示を終了することがあります。
- ●映像をブランク画面を表示しても音声は消えません。あらかじめ音量を調節するか、音声を消してからブランク画面の表示を実行してください。
- ●ブランク機能と音声の消音機能を同時にお使いになりたい場合は、「その他」メニューの「マイボタン」機能に AV ミュートを割り当ててご使用いただけます (📖**2-28**)。

お守りください

●レンズに何かを張り付けたり、密着させて置いたりしないでください。

高温となってレンズ面が融け、映像不良の原因となることがあります。本機のランプを点灯させたまま、投写映像を消したい場合は、上記の「ブランク」機能をご使用ください。

点検とお手入れ

ランプを交換する

ランプについてのご注意

 警告 感電注意 高温注意 破裂注意

本機のランプは、ガラス製で内部圧力の高い水銀ランプです
このランプは、衝撃や傷、高温状態での取扱い、使用時間の経過による劣化などで、大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になって寿命を終える特性があります。寿命の長さはランプによって大きな差があり、使用後まもなく破裂したり不点灯になったりすることもあります。
ランプが破裂すると、本機の内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部の水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが本機の通風口から出たりすることがあります。ご使用のまえに、本書および本機の注意ラベルをよくお読みになり、取扱いには十分ご注意ください。

電源プラグをコンセントから抜け

●ランプが破裂したら、使用を中止して電源プラグを抜き、販売店に連絡する
飛び散ったガラス片によってけがや本機の内部を傷つける原因となることがあります。
▶ランプが破裂した、または破裂したおそれのある場合は、必ず電源を切って電源プラグを抜き、ランプカバーを開けずに販売店へご連絡ください。
▶ランプの破裂によって水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが排出されることがあります。排気を十分にして、目や鼻、口から入らないようにご注意ください。万一、入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

●ランプの交換は、電源プラグを抜き、十分冷ましてから行う
電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。また、高温状態でランプを取り扱うと、やけどやランプが破裂する原因となります。
▶ランプの交換は、初めに本機の電源を切り、電源プラグを抜いて放置し、ランプや本機内部を十分冷ましてください。

●天井設置や高所設置では、ランプの交換は販売店にご依頼ください。
万一、ランプが破裂していると、破片が落下して危険です。また高所での作業には転落などの危険が伴います。
▶ランプが破裂していない場合でも、ランプの交換は必ず販売店にご依頼ください。ランプカバーは開けないでください。

●ランプは指定品を使用する
ランプを交換するときは、本書に指定された型名とご使用になるランプの型名が一致することを事前にご確認ください。本機の仕様に合わないランプを使用すると、火災や故障の原因となったり、本機の寿命を縮める原因となることがあります。

●ランプやランプカバーは正しく取り付けて使用する。
正しく取り付けてられていなかったりネジがゆるんでいたりすると、ランプカバーやランプが外れて、けがや故障の原因となることがあります。
▶ランプを交換した後は、固定用のネジがしっかり締められ、ランプカバーがきちんと閉じられていることを確認してください。

●ランプは取扱いに注意し、正しく使用してください。
ランプは衝撃を加えたり傷つけたり、寿命を超えてご使用になったりすると、破裂したり、不点灯となることがあります。ランプは丁寧に取り扱ってください。
▶古いランプ（中古品）は破裂し易いのでご使用にならないでください。
▶映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりしたら、お早めに交換してください。

●使用済みのランプは正しく廃棄してください。
本機は水銀ランプを使用しています。廃棄は、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従って正しく行ってください。

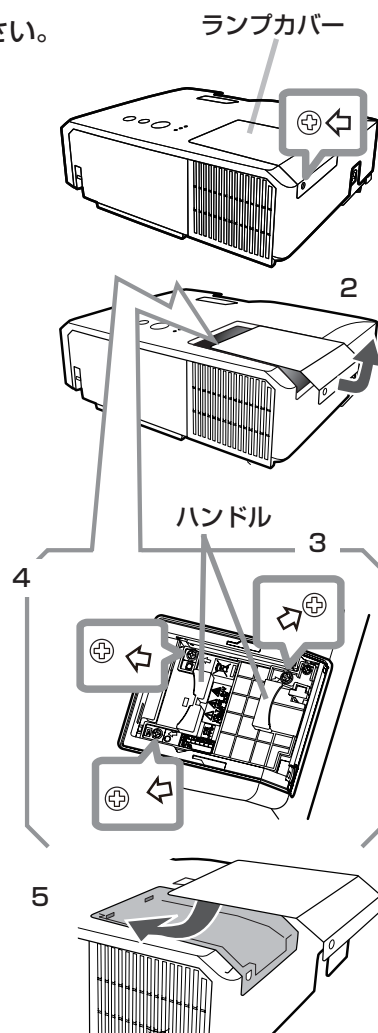
ランプの交換方法

ランプは使用時間の経過にともない、徐々に映像が暗くなったり、色合いが悪くなったりすることがあります。また、ランプの寿命にはばらつきがあり、ご使用開始から比較的短時間で破裂したり、不点灯となったりすることがあります。あらかじめ交換用のランプをご用意いただき、お早めに交換いただくことをお勧めします。
交換用のランプは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

型名： CP-X3015WNJ 001（DT01371）

次のような場合は、ランプユニットの交換を必ず販売店へご依頼ください。
・ランプが破裂した、あるいは破裂したおそれがある場合
・プロジェクターが天井 (天吊り) や高所に設置されている場合

■ランプを交換する

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、45 分以上放置して冷ましてください。
2. 右図を参考に、ランプカバーのネジ（⇦）を緩め、ランプカバーを外してください。
3. ランプを固定している 3 つのネジ（⇦，⇦）を緩め、ハンドルを持って、ランプをまっすぐにゆっくりと引き上げて取り出してください。 絶対に他のネジは緩めないでください。
4. 用意した新しいランプの型名が、上記の型名と一致することをご確認のうえ、前のランプと同じように入れ、3 つのネジ（⇦，⇦）をもとのように締めて固定してください。
5. ランプカバーを閉じて、もとのようにネジ（⇦）を締めて固定してください。
6. 以下の手順に従い、本機のメニューを使ってランプ時間を初期化してください。
   (1) 本機の電源を入れ、「詳細メニュー」（📖**2-3**）を表示させてください。
   (2) カーソルボタン▼ / ▲で「その他」メニューを選択し、カーソルボタン ► を押してください。
   (3) カーソルボタン▼/▲で「ランプ時間」を選択し、カーソルボタン ► を押すと、ランプ時間を初期化するダイアログが現れます。
   (4) ダイアログの「OK」を選んでカーソルボタン ► を押すと、ランプ時間が初期化されます。

お守りください

●ランプを取り出したり取り付けたりする際、本機の内部に触れないでください。故障、映像不良の原因となることがあります。
●ランプ時間の初期化は正しく行ってください。ランプユニットを交換したら必ずランプ時間を初期化してください。ランプを交換せずにランプ時間を初期化しないでください。ランプ時間は、初期または前回ランプ時間を初期化した時から現在までの本機の稼働時間を 1 時間単位で表示します。ランプ時間の初期化を正しく行わないと実際のランプの使用時間とランプ時間の値が一致しません。
●ランプ交換の際は、エアーフィルターも交換してください (📖**1-40**)。本機の交換用ランプに付属のエアーフィルターをご使用いただけます。

エアーフィルターを掃除／交換する

本機のエアーフィルターユニットは、フィルターカバーと２種類のフィルターから構成されています。この二重のエアーフィルターは頻繁なお手入れの手間を省き、かつ長くご使用いただけますが、本機内部の換気と正常な動作を維持するため、定期的な確認とお手入れをお願いいたします。「エアーフィルターの掃除をお願いします」などのメッセージが現われたときや、インジケータが点灯した場合は、できるだけ早くお手入れしてください。

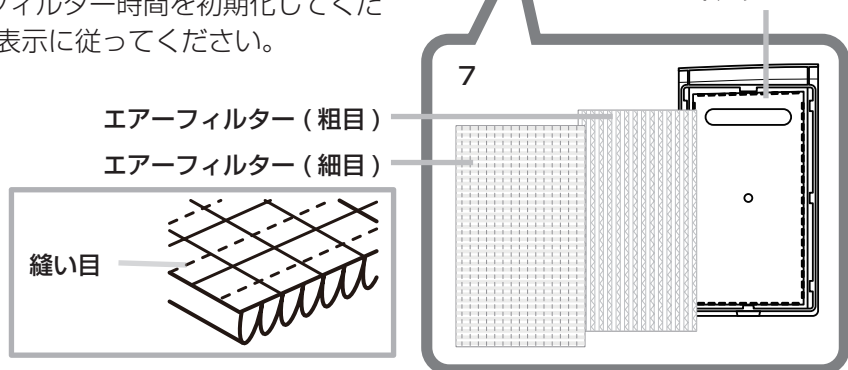
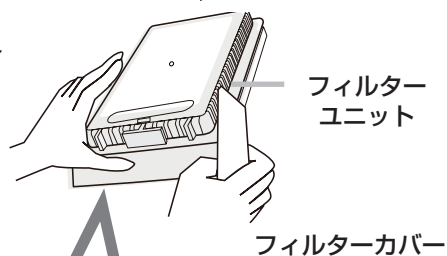
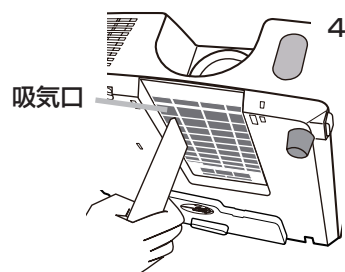
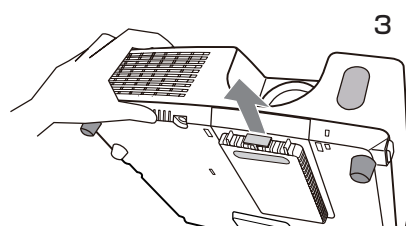
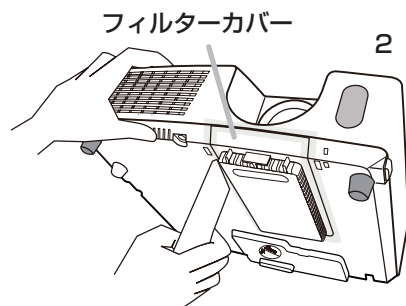
エアーフィルターが破損したり、汚れがひどくて掃除しきれない場合はエアーフィルターを取り替えてください。交換用のエアーフィルターは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

型名：CP-X2510J 002 (MU06481)

ランプを交換するときは、エアーフィルターも交換してください。本機の交換用ランプには、本機用のエアーフィルターが付属されています。

以下の手順に従って交換してください。

1. 本機の電源を切って（📖1-29）電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。
2. 掃除機を使って、フィルターカバーとその周辺をお掃除してください。
3. 片手で本機を支え、他方の手で矢印の方向にフィルターカバーをひいて外してください。
4. 掃除機を使って、本機の吸気口 (フィルターユニットが取り付けられていた奥）とフィルターユニットの外側をお掃除してください。
5. フィルターカバーをもって、フィルターを取り外してください。
6. フィルターの両側を掃除機でお掃除してください。フィルターが痛んでいたり汚れがひどい場合は新しいものに取り替えてください。
7. フィルターカバーにフィルターを戻してください。最初に、粗目のフィルターをフィルターカバーに入れてください。細目のフィルターの縫い目のある側を上にして粗目のフィルターの上に置いてください。
8. フィルターユニットをもとのように本体に取り付けてください。
9. 本機の電源を入れ､｢簡単メニュー｣の｢フィルター時間｣（📖2-5）を使って、フィルター時間を初期化してください。詳細はメニュー表示に従ってください。

⚠警告

●**エアーフィルターをお手入れする前に、電源プラグを抜き、十分冷ます**
エアーフィルターをお手入れする前に、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機内部を十分に冷ましてください。電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因になります。また、高温状態での取扱いはやけどの原因となります。

●**エアーフィルターは正しく使用し、定期的にお手入れする**
エアーフィルターがほこりや汚れで詰まったり、正しく取り付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。
▶フィルターカバーやエアーフィルターを外した状態では使用しないでください。
▶エアーフィルターが痛んでいたり汚れがひどい場合は新しいエアーフィルターに交換してください。その際、必ず指定のエアーフィルターを正しくご使用ください。

お守りください

●フィルター時間の初期化は正しく行ってください。エアーフィルターをお掃除または交換したら必ずフィルター時間を初期化してください。エアーフィルターをお掃除または交換せずにフィルター時間を初期化しないでください。フィルター時間は、初期または前回フィルター時間を初期化した時から現在までの本機の稼働時間を 1 時間単位で表示します。フィルター時間の初期化を正しく行わないと実際のエアーフィルターの使用時間とフィルター時間の値が一致しません。

お知らせ

● 「フィルター掃除通知」機能（📖2-30）をご使用になると、お掃除または交換時期をお知らせするメッセージを表示させることもできます。
● 本機が「吸気口をチェックしてください」メッセージを表示した時は、本機の電源をオフにして、内部の温度が上昇するのを防いでください。

その他のお手入れ

内部の点検とお手入れ

内部にほこりがたまった状態で本機を使用し続けると、火災や感電、故障や映像不良の原因となることがあります。安全なご使用のため、１年に１度を目安に、販売店に内部の清掃・点検をご依頼ください。内部のお手入れは湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。お手入れの費用などについては販売店にご相談ください。

レンズのお手入れ

レンズが傷ついていたり、くもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となります。

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく放置して冷ましてください。
2. 本機が十分に冷えていることを確認し、市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）でレンズを軽く拭いてください。レンズを傷つけないように、また、素手で触らないようにご注意ください。

キャビネットとリモコンのお手入れ

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく放置して冷ましてください。
2. 本機が十分に冷えていることを確認し、ガーゼなどのやわらかい布で軽く拭いてください。
   汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞ったやわらかい布で軽く拭いた後、別の乾いたやわらかい布で軽く拭いて仕上げてください。

警告

●お手入れの前に、電源プラグを抜き、十分冷ます
お手入れのまえに、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機を十分に冷ましてください。使用中や使用後しばらくは、レンズやその周辺は高温になります。電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。また、高温状態での取扱いはやけどの原因となります。

●ランプ点灯中はレンズをのぞかない
ランプの点灯中はレンズから強い光が出ます。視力障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

注意

●レンズのクリーニングに掃除機を使わない
レンズのクリーニングに掃除機を使うと故障の原因となる場合がありますので使用しないでください。

●本書に指定されているもの以外の洗剤、薬品は使用しない
表面が変質したり、塗装がはがれることがあります。水、または水で薄めた中性洗剤はキャビネットとリモコンのお手入れ以外には使用しないでください。
▶スプレーはご使用にならないでください。ガスや霧が本機の内部に入って、故障などの原因となることがあります。
▶化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。

●本機内部に水や洗剤を入れない
万一、水や洗剤が入ってしまったら、販売店にご連絡ください。

●本機（キャビネット、レンズ）およびリモコンを傷つけない
硬いものを当てたり、こすったりして傷つけないようにご注意ください。破損や故障、映像不良の原因となることがあります。

●内部の点検とお手入れは、販売店に依頼する
お客様による内部のお手入れは危険ですので、絶対におやめください。